



いすぐみだより

2025年度 9月号

尚徳福祉会生麦保育園

まだまだ暑い日が続いていますが、暦の上ではもう秋を迎えましたね。暑さでなかなか戸外へ行くことができない日が続いていますが、涼しい日は 30 分だけ園庭に出たり、日陰であそべるようにしたりして、子どもたちの体調に気を付けて過ごしていきたいと思います♪

最後まで。。。！

最近、さらに色々なことが自分で出来るようになってきました。戸外遊びの後に保育者が「体を拭こう」と声をかけると、すぐに服を脱ごうとするのですが「できないよお～」と汗でなかなか脱げない服にイライラする様子も。。。ですが「できない～」と言いながらも、諦めることなくやり遂げようとしています！近くにいるお友だちが、自然に袖を引っ張ってアシストしたり、「ここよ！」と指差して教えてくれたり。。。子どもたち同士のやり取りが見ていて嬉しいです。本当に難しそうな時は大人が援助することもあります。最後まで服を脱ぐことができると、やりきった表情で「できたよ」と教えてくれます。その笑顔を見ると「できたね！」「やったね！」と子ども以上に喜んでしまいます(笑)これからも子どもたちの力を信じ、ちょうどいい距離で見守っていききたいです☆

「ことば」って面白い

「2 歳後半～3 歳にかけて、約 1,000 の言葉を知り、理解し、話す」という内容をとある本で見ました。言葉がぐんと増える時期なのは知っていましたが「1,000 も！？」と驚いたのと同時に、りす組の子どもたちはどんな言葉を話しているかな。。。とふと考えました。普段何気なくやりとりしていますが、よく耳を澄ましていると、色・物の名称などはもちろん「あれ、それ、これ」などの指示詞や「長い、短い、大きい、小さい、いっぱい、ちょっと」などの比較を表す言葉などもよく会話の中で聞かれました。毎日の園生活の中で、言葉を「知っている」だけでなく「意味を理解」して「話す」のは難しそうだ。。。と思いましたが、普段の子どもたちのやりとりを見ていると、大人が思っている以上に「意味を理解」しているのだなぁと新しい発見もありました。

ただ言葉の数を 1,000 知っていればいい、たくさん言葉が出ているという視点よりは、言葉を通じて目と目が合い「通じ合っている」と感じられるようなやりとりを今後も楽しみたいと思います。

お家でも、ことばの量や理解度に注目して話してみると面白いかもしれません♪

たのしかった水遊び

テラスでの水遊びは昨年よりもみんなダイナミック！嫌がる子もおらず、一人一人が自分のペースで楽しく参加しました。人気の玩具は争奪戦になることもありましたが(笑)、安全に配慮して楽しむことができました。

※8月31日でいったん水遊びは終了となります。毎日のカードの記入にご協力いただきありがとうございました。9月からも暑い日はシャワーや、体拭きなどしていく予定です。カードはしばらくノートにはさみ、

引き続き 3 項に記入をお願いします☆



お知らせ・おねがい

○10月18日(土)「親子であそぼう会」を予定しています。詳細は別途お知らせします。

○毎週金曜日、シーツと掛け布団を子どもたちが自分で外してロッカーに入れる練習をしています。忘れずに持ち帰るようお願いいたします。